



# 北里大学同窓会福井県支部 会報 第18号(2012.8)



2012(平成24)年、北里大学が創立50周年を、2014(平成26)年には北里研究所が創立100周年を迎えます。学校法人北里研究所は、これを契機に創立記念事業「Kitasato100×50プロジェクト【未来科学の創造～Pioneer the Next～】」をスタート。次代も、生命を育む科学の先駆者であるために、私たちは新たな一歩を踏み出します。

## 目次

『支部設立25周年記念行事』を開催して	..... p. 1
講演会・総会・祝賀会を振り返って	..... p. 2
学校法人北里研究所・北里大学の近況	..... p. 4
第38回支部長会議報告	..... p. 6
平成23年度総会・講演会・懇親会を開催	..... p. 8
会計報告	..... p.10
福井県支部の歩み/思い出の写真	..... p.11
会員からの便り	..... p.13
編集後記	..... p.16

福井県支部ホームページを8月15日にリニューアルします!

## 『福井県支部設立25周年記念行事』を開催して

支部長 伊藤 善祐

支部設立25周年を記念して、去る平成22年11月6日(土)に福井新聞社・風の森ホール(福井市)で公開講演会を開催しました。

講師に北里大学医学部眼科主任教授の清水公也先生(福井市出身)をお招きし、『眼科手術最前線!』をテーマに講演していただきました。加齢などが原因で水晶体が濁る白内障について、人工水晶体による「眼内レンズ」の移植手術では術後のライフスタイルに見合ったレンズの選択が必要であることや、最新の視力矯正手術としてレーシック手術のように角膜を削る必要がない「眼内コンタクトレンズ」の有用性を解説されました。約200人の聴衆は熱心に聞き入り、多くの質問が出たことから関心の高さが伺われました。

本講演会は、支部企画行事として同窓会本部の援助により開催しました。毎年、福井県からは受験者・入学者が少ない為、設立25周年を機に北里大学を広く県民に紹介し、かつ公開講演会を通じて地域社会に少しでも貢献することが目的でした。さらに、会員には同窓会活動の理解と交流を深めてもらいたいと願っていました。そこで、新聞に講演会の案内を掲載し、来場者全員に学校法人北里研究所・北里大学のパンフレットと北里研究所旧本館(博物館明治村)のクリアファイルを配布しました。

また、当日は同窓会副会長の鈴木達夫先生をお迎えして定期総会と祝賀会(あわら温泉)を開催し、翌日は曹洞宗大本山永平寺と福井県立恐竜博物館へのエクスカージョンを楽しみました。

今回、昭和61年5月の支部設立以来積年の思いが実現し、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。今後も同窓の「絆」を大切に、有意義な同窓会活動を継続してまいります。



講師：清水公也先生



演題  
**眼科手術最前線!**  
講師 北里大学医学部眼科 主任教授 清水公也先生



挨拶：伊藤支部長



司会：宮崎先生



進行：佐藤さん



会場受付にて



会場内（質疑応答）

講演終了後、参加していただいた方々から多くの質問が出ました。率直な悩みや治療法などの質問に対して、清水先生は丁寧に答えてくださいました。紙面の都合上、それらの内容は紹介出来ませんが、白内障の手術に関して「糖尿病の持病があるが、手術を受けてもいいのか?」「手術後、涙が多く出るのは何故か?」「手術後、視界が戻らないが...」などの切実な質問が印象的でした。



鈴木達雄先生

北里大学同窓会 副会長  
北里保健衛生専門学院 学院長

### 平成 22 年度福井県支部定期総会

日 時：平成 22 年 11 月 6 日(土) 13:00～14:00

会 場：福井新聞社・コスモポリタンカフェ

総会は、本部より副会長の鈴木達雄先生をお迎えして公開講演会の前に開催されました。自己紹介の後、先生から学校法人 北里研究所・北里大学となったこと、研究所は創立 100 周年、大学は 50 周年を迎え、これを記念して諸事業が計画されていることが紹介されました。

当支部からは『支部設立 25 周年』を迎えて行事を企画したことが報告され、これに関わる予算が了承されました。



11 月 6 日(土) 祝賀会(会場：あわら温泉べにや)

7 日(日) 曹洞宗大本山永平寺(特別参拝)  
福井県立恐竜博物館



## 学校法人 北里研究所・北里大学の近況

前 学校法人 北里研究所 常任理事 針谷 義弘

北里大学は平成 24 年に創立 50 周年を、北里研究所は平成 26 年に創立 100 周年を迎えます。平成 23 年 4 月から周年記念事業を展開するため着々と準備を進めて参り、平成 22 年 9 月に一般教育部新棟竣工時にキックオフパーティーを行いました。

ところが、昨年 3 月の東日本大震災と福島第 1 原発の事故を受け、周年記念行事を一年間凍結し、平成 24 年 4 月から再開することに致しました。柴理事長を委員長とした周年記念事業推進委員会が昨年 12 月に発足し、パンフレットの作成や各企画を検討しているところです。しかし、平成 24 年度は学校法人の役員改選の年でもあり、周年記念事業の実質的な活動は 9 月以降からならざるを得ません。



以下に、周年事業内容の今後の予定を記載します。

### 1) 募金活動(平成 24 年 4 月～5 年間)

4 月から新入生・在学生の父母、教職員に、9 月から卒業生、企業等に募金趣意書をお送りします。募金趣意書が届きましたら、積極的なご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 2) 記念シンポジウム

テーマ：近代医学の父 - 北里 柴三郎

日 時：平成 24 年 10 月 11 日(日) 14:00～16:30

場 所：北里大学薬学部コンベンションホール

### 3) 北里柴三郎特別展の開催

日 時：平成 24 年 11 月 9 日(金)～12 月 16 日(日)

場 所：相模原市立博物館

### 4) 記念式典

日 時：平成 25 年 11 月 5 日(火) 北里記念日 13:00～15:00

場 所：東京国際フォーラム

### 5) 祝賀会

日 時：平成 25 年 11 月 5 日(火) 北里記念日 17:00～19:00

場 所：帝国ホテル東京 孔雀の間

### 6) 記念講演会

日 時：平成 25 年 11 月予定

その他、日時・内容等が未定ですが、次のような企画が検討されています。

#### 【北里精神の継承・発展】

小国町「北里柴三郎記念館」整備(第 1 期)、学統 DVD の制作、北里柴三郎記念室の整備(白金、相模原)

#### 【教育・研究・医療の充実と環境整備】

大学新病院の建設(地上 14 階・地下 1 階、平成 25 年 12 月竣工、26 年 5 月開院予定、完成イメージ図が大学同窓会報 72 号表紙に掲載されています。)

相模原(海洋生命学部 MB 号館建設中：地上 5 階、平成 24 年 8 月竣工予定)、白金・十和田キャンパスの整備

## 【学生支援の拡充と国際交流の推進】

100周年記念基金の創設

## 【記念行事】

記念誌刊行、校歌制定(平成24年11月)、懸賞論文募集(～平成25年3月、11月5日)、学生企画・学生運営委員の募集(表彰～平成26年2月随時)、学生企画イベント・シンポジウム、ホームカミングデー・卒業生企画

## 【記念関連事業】

記念切手作成、その他記念グッズ

各行事の詳細が決まりましたら大学ホームページ及び大学同窓会報に掲載されますので、ご覧のうえ積極的にご参加いただければ幸いです。なお、すでに周年記念事業として完了したものは次のとおりです。

博物館明治村北里柴三郎記念館の整備・記念展の開催

一般教育新棟の建設(L1号館、地上7階・一部地下1階、平成22年8月竣工)

十和田キャンパス 新体育館(平成23年3月竣工)

シンボルマーク作成(平成22年3月)、ロゴマークシール配布(平成23年4月)

ローベルトコッホ研究所 / 北里研究所・北里大学合同シンポジウム(平成22年10月26日)

最後になりましたが、同窓生の皆様のご健勝とますますのご活躍をお祈り申し上げます。



同窓会会報第72号(平成24年3月16日発行)より  
(本部の許可を得て転載)

## 建築概要

新病棟 建築規模：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地下1階、地上14階建(免震構造)  
(新築) 延床面積：92,777 m<sup>2</sup> 病床数：761床  
工 期：平成23年9月～平成25年12月  
新 棟 建築規模：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地下1階、地上8階建(免震構造)  
(改修) 延床面積：22,613 m<sup>2</sup> 病床数：272床  
工 期：平成26年6月～平成26年12月

## 第 38 回支部長会議報告

支部長 伊藤 善祐

日 時：10月29日(土) 午後3時~6時

会 場：ザ・プリンスホテルさくらタワー・東京(東京都品川区)

平成 23 年度の支部懇談会は、島田会長をはじめ本部役員と 16 支部の代表が出席して開催されました。当支部より伊藤が出席しましたので、その概要を報告します。

\* \* \* \* \*

今回は東日本大震災後初めての支部長会議でした。震災による水産海洋学部の被害状況やその後の対策については、会員の皆様は同窓会報やホームページでご覧になっておられると思いますが、大学当局や同窓会は迅速に対応されました。

会議では、かねてより課題になっている“支部の活性化”が中心となりました。それをディスカッションする為に、支部長が3つのグループに分かれて1時間程度話し合った後、各グループからまとめが発表されました。その内容は、次のとおりです。

1. 会員数が多い支部では、経費や労力の都合上全員に案内状や会報を送ることが難しい。以前に返事のあった会員をリストにして、その人達だけに発送している。  
\* 同窓生は分け隔てなく対応するのが原則である。発送費は1人に付き200円が助成されるが(年2回まで)、会報の印刷費を含めると大きな赤字になるのは避けられない。
2. 個人情報保護の観点から会員名簿を作成しなくなった為、会員管理が継続して出来ない。
3. どの支部も年会費の納入率が低くなった為、現在は年会費を徴収していない支部が多い。
4. 長年支部長を務めてきた人が多くなった為、後輩にバトンタッチして若返りを考えているが、支部活動に若い人たちや女性の参加が少ない。
5. 公開講演会などを通じて北里大学をピーアールし、同時に会員の意識高揚を図りたいが、何人が集まるのか心配であり、その経費も無い。  
\* 支部企画行事に本部より50万円を限度に援助があるので、それを活用してはどうか。
6. 地道に活動(総会・懇親会、講演会、会報、ホームページ)を継続するしかないが、会員を勧誘する為の具体的な方法を模索している。
7. 会員拡大の為には、口コミや職場でのつながりが大切である。会員数が多くなれば、それなりに運営が難しくなるが止むを得ない。
8. 支部活動への参加者を増やしてアクティビティを高める。その為に、もっと女性が参加しやすい企画を考え、場所の選定も大切に家族ぐるみで参加できるように配慮する。  
\* その企画は女性にしてもらった方が良いのではないか。

さて、福井県内(出身)の同窓生は本部の名簿で約150人ですが、総会に参加していただけるのは、毎回10人余りでした(昨年は17人)。会員名簿は作成しておらず、総会の案内や会報は本部からの宛名ラベルでお送りしています。

当支部では設立以来、総会・懇親会開催、会報発行、ホームページ開設、そして22年度は『支部設立25周年記念行事』として公開講演会を開催しました。小人数ではありましたが、このような事ができるのは大変嬉しいことです。また、現在は多少なりとも積立金がありますので、会費を徴収しなくても今後10年は活動できると考えています。

当支部では、限られた予算の中でこれからも活動を継続して参ります。設立25周年から30周年へ向けて、会員の皆様の積極的なご参加を心からお待ち申し上げております。

第38回支部長会議



島田同窓会長挨拶



各支部からの報告



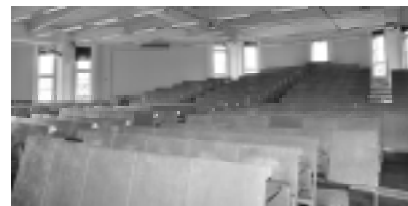
支部活動活性化をテーマにディスカッション後、グループ発表



懇親会にて鈴木副会長の挨拶

懐かしい元一般教養部校舎。著名な建築家の黒川紀章氏の設計で、相模原キャンパスに最初に建てられました。その姿は、正面入口からは北里の”北”に見えるシンボリックな存在でした。

全学部の学生がここで1年間の教養課程を終えて、それぞれの校舎やキャンパスへ移りました。この建物は、平成22年に取り壊されて、現在新しい病院を建設中です。



体育祭にて(昭和46年)



## 平成 23 年度総会・講演会・懇親会を開催

3月18日(日)、平成24年度行事として福井県支部定期総会・講演会・懇親会を福井市内の『AOSSA(アオッサ)3階 ウェルアオッサ』で開催しました。

午前10時30分より開催された講演会では、郷土史を研究されている本川幹男氏(福井県文書館資料調査員、各自治体史編纂委員、福井市在住)をお招きし、学祖・北里柴三郎博士の『医道論』の根幹となっている横井小楠(よこい しょうなん)

の“実学思想”と幕末の福井藩について1時間余り講演していただきました(横井小楠は北里柴三郎博士と同じ肥後(現、熊本県)出身で、幕末には福井藩に招聘され、多くの人たちに影響を及ぼした人物です。)

講演会に引き続き11時40分より定期総会を開催しました。今回は同窓会本部からお招きせず、出席者は8名(委任状40名)となりました。例年出席者が少なかった為、今回は日曜日にしたところ、お彼岸と休日が重なった為出席者が少なくなり大変残念でした。大学の近況については、針谷義弘先生(前 学校法人 北里研究所 常任理事)より会報に寄せていただきましたので、是非お読みください(p.4~5)。

会計年度が4月1日~翌年3月31日で、前回は22年11月、今回は3月の総会開催となった為、下記の内容になりました。なお、支部規約では毎年5月の開催となっておりますが、諸般の事情により変則的になりましたのでご了承ください。

〔報告事項〕\*本会報に掲載しました。

福井県支部設立25周年行事(公開講演会・祝賀会・エクスカージョン)について 平成22年度定期総会について 平成23年度支部長会議について

〔審議事項〕

平成22年度事業報告及び収支決算(案)について 平成23年度事業報告及び収支決算(案)について 平成24年度事業計画及び収支予算(案)について 定期総会の開催時期について 会員名簿について

この中で、支部設立25周年行事は本部からの企画事業援助金(50万円)、積立金の取り崩し(20万円)及び参加費を充てたことと、平成23年度決算は予想額が報告されました。さらに、24年度の計画として定期総会の開催、会報「第18号」の発行、講演会の開催、さらにホームページのリニューアルが提案され、いずれも全会一致で承認されました。また、不定期となっている総会の開催時期については、改めて理事会で協議することになりました。また、今後も会員名簿は作成せず、本部に宛名ラベルを申請して案内状や会報の送付を行っていくことと、本部からの補助金と積立金により会費を集めなくても当分の間支部活動が継続できることが説明されました。

総会後の12時過ぎより同会場で懇親会が開催されました。講師の本川幹男先生を囲んで自己紹介と懇談が行われ、有意義な一時を過ごすことが出来ました。出席された皆様には心から感謝を申し上げます。次回は、多くの同窓生にお集まりいただけることを願って報告とさせていただきます。



会場：AOSSA(アオッサ)



## 講演会・懇談会



講師：本川幹男先生



### 平成 22 年度事業報告 \* 本会報に掲載しました(p.1~3)。

1. 福井県支部設立 25 周年記念行事
  - ・ 公開講演会
  - ・ 祝賀会
  - ・ エキスカーション
2. 平成 22 年度定期総会

### 平成 23 年度事業報告

1. 平成 23 年度定期総会
  - 日 時：平成 24 年 3 月 18 日(日) 11:40~12:00
  - 会 場：アオッサ 3 階ウエルアオッサ
2. 講演会
  - 日 時：平成 24 年 3 月 18 日(日) 10:30~11:40
  - 会 場：同所
3. 懇親会
  - 日 時：平成 24 年 3 月 18 日(日) 12:00~13:30
  - 会 場：同所

### 平成 24 年度事業計画

1. 福井県支部会報「第 18 号」発行
  - 平成 24 年 6 月に予定
2. 福井県支部ホームページのリニューアル
  - 平成 24 年 6 月に予定
3. 平成 24 年度総会・講演会・懇親会
  - 日 時：平成 25 年 5 月頃
  - 会 場：未定

会報「第 18 号」は 8 月 7 日に発行、ホームページは 8 月 15 日にリニューアルしますのでご了承ください。

# 会計報告

## 平成23年度 収支決算

### 1. 収入の部

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B) - (A)	備考
前期繰越金	127,780	127,780	0	
年会費	0	0	0	
通信費援助金	30,000	27,000	3,000	同窓会本部より(200円×135人分、定期総会案内発送)
総会開催祝金	100,000	100,000	0	同窓会本部より
講演会援助金	50,000	50,000	0	"
積立金繰り戻し	0	0	0	
雑収入	100	3,017	2,917	貯金利息17円、講師懇親会費3,000円(同窓会本部より)
繰入金	0	0	0	
合計	307,880	307,797	83	

### 2. 支出の部

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B) - (A)	備考
名簿関係費	0	0	0	
会報関係費	0	0	0	
総会費	17,000	25,882	8,882	定期総会案内等の切手、メール便料金他
懇談会費	100,000	62,375	37,625	支部負担金(3/18)
会議費	10,000	3,360	6,640	理事会(H23/11/18)
慶弔費	10,000	0	10,000	
事務費	15,000	14,234	766	消耗品(用紙、インク他)、USBメモリー、Eメール料金(1年分)
事業費	50,000	32,500	17,500	講師謝礼(3/18講演会)
(小計)	(202,000)	(138,351)	63,649	
予備費	10,000	0	10,000	
事業用積立金	0	0	0	
次期繰越金	95,880	169,446	73,566	
合計	307,880	307,797	83	

### 定期貯金

金融機関	金額
ゆうちょ銀行	800,000
合計	800,000

## 平成24年度 収支予算

### 1. 収入の部

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B) - (A)	備考
前期繰越金	169,446			
年会費	0			
通信費援助金	55,000			同窓会本部より(200円/人)×2回分(会報、定期総会案内発送)
総会開催祝金	100,000			同窓会本部より
講演会援助金	50,000			"
積立金繰り戻し	0			
雑収入	50			貯金利息
繰入金	0			
合計	374,496			

### 2. 支出の部

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B) - (A)	備考
名簿関係費	0			
会報関係費	47,000			'第18号'(6月発行予定)の印刷費、発送費
総会費	15,000			定期総会案内等の発送費他
懇談会費	80,000			支部負担金
会議費	10,000			理事会(年2回)
慶弔費	10,000			
事務費	10,000			消耗品
事業費	110,000			講師謝礼(講演会)、ホームページリニューアル費
(小計)	(282,000)			
予備費	10,000			
事業用積立金	0			
次期繰越金	82,496			
合計	374,496			

## 福井県支部の歩み

昭和 61 年度	6月22日	支部設立総会 会 場：福井厚生年金会館(福井市) 出席者：14名(本部から柴会長) 懇親会(同所) 参加者：会員14名、柴会長	平成 11 年度	6月25日	総 会 会 場：くろ川(福井市) 出席者：12名(本部から小山田理事) 懇親会(同所) 参加者：会員12名、小山田理事
昭和 62 年度	6月28日 8月 1日 8月23日	総 会 会 場：グリル「葵」(福井市) 出席者：14名(本部から坂口副会長) 懇親会(同所) 出席者：会員12名、坂口副会長 会報[第1号]、名簿発行 バス旅行(明治村、犬山モンキーセンター) 参加者：会員4名・家族15名	平成 12 年度	11月17日	総 会 会 場：福井ワシントンホテル「銀坐」(福井市) 出席者：10名(本部から秋田理事) 懇親会(同所) 参加者：会員10名、秋田理事
昭和 63 年度	11月13日	総 会 会 場：割烹「茶太」(福井市) 出席者：14名(本部から針谷理事) 懇親会(同所) 参加者：会員12名、家族6名、針谷理事 ポーリング大会(ベルパウエル) 参加者：会員10名・家族2名	平成 13 年度	7月 8日 11月15日	総 会 会 場：勝山ニューホテル(勝山市) 出席者：8名(本部から市川理事) 懇親会(福井県立恐竜博物館、越前大仏) 参加者：会員7名、小山田理事 会報[第12号]、名簿発行
平成 元 年度	11月12日 3月17日 - 18日	総 会 会 場：グリル「葵」(福井市) 出席者：13名 懇親会(同所) 参加者：会員12名、家族1名 スキーツアー(赤倉) 参加者：1名(富山、石川と合同)	平成 14 年度	6月28日 10月15日	総 会 会 場：福井厚生年金会館(福井市) 出席者：11名 懇親会(同所) 参加者：会員11名 会報[第13号]、名簿発行
平成 2 年度	6月 4日 6月24日	会報[第2号]、名簿発行 総 会 会 場：ユアーズホテル フクイ(福井市) 出席者：15名 懇親会(同所) 参加者：会員15名、家族1名	平成 15 年度	5月25日 10月15日	総 会 会 場：敦賀きらめき温泉「リラ・ポート」(敦賀市) 出席者：10名(本部から秋田理事) 懇親会(同所) 参加者：会員10名 会報[第14号]、名簿発行
平成 3 年度	6月 9日 1月 4日	総 会 会 場：六呂師高原温泉ピクニックガーデン(勝山市) 出席者：9名(本部から松山会長) 懇親会(同所) 参加者：会員9名、家族12名、松山会長 会報[第3号]、名簿発行	平成 16 年度	7月 9日 1月15日	総 会 会 場：グリル「葵」(福井市) 出席者：7名 懇親会(同所) 参加者：会員7名 会報[第15号]、名簿発行
平成 4 年度	6月21日 3月25日	総 会 会 場：ふるさと道場(池田町) 出席者：10名 懇親会(同所) 参加者：会員11名、家族22名 会報[第4号]、名簿発行	平成 17 年度	10月29日	総 会 会 場：市町村職員共済組合保養所「越路」(あわら市) 出席者：8名(本部から丸山浩一教授、稲垣理事) 懇親会(同所) 参加者：会員7名、丸山浩一教授、稲垣理事
平成 5 年度	6月17日 3月 6日	総 会 会 場：イタリア料理「チャオ」(福井市) 出席者：16名(本部から鈴木副会長) 懇親会(同所) 出席者：会員16名、鈴木副会長 スケート大会 会 場：サンピア敦賀(敦賀市) 参加者：会員5名、家族5名	平成 18 年度	3月15日	会報[第16号]発行
平成 6 年度	5月16日 6月21日	会報[第5号]発行 総 会 会 場：そば道場(今庄町) 出席者：6名(本部から長屋理事) 懇親会(そば道場、おと村) 参加者：会員6名、家族13名、長屋理事	平成 19 年度	5月25日	総 会 会 場：ユアーズホテルフクイ「橋」(福井市) 出席者：11名 懇親会(同所) 参加者：会員11名
平成 7 年度	6月23日 10月15日	総 会 会 場：福井ワシントンホテル「銀坐」(福井市) 出席者：15名(本部から小山田理事) 懇親会(同所) 参加者：会員11名、小山田理事 会報[第6号]、名簿発行	平成 20 年度	1月15日 3月6日	会報[第17号]発行 総 会 会 場：グリル「葵」(福井市) 出席者：15名 懇親会(同所) 参加者：会員16名
平成 8 年度	6月28日 3月15日	総 会 会 場：割烹「おお田」(福井市) 出席者：16名(本部から松山会長) 懇親会(同所) 参加者：会員16名、松山会長 会報[第7号]、名簿発行	平成 21 年度		
平成 9 年度	8月23日 8月24日 11月15日	総 会 会 場：今庄アルペンローズ365(今庄町) 出席者：8名(本部から市川理事) 懇親会(同所) 参加者：会員8名、家族4名、市川理事 夜叉ヶ池登山 参加者：会員6名、家族7名 会報[第8号]、名簿発行	平成 22 年度	11月6日 - 7日	『福井県支部創立25周年記念行事』 公開講演会 テーマ：「眼科手術の最前線！」 会 場：福井新聞社 風の森ホール(福井市) 総 会 会 場：福井新聞社 コスモボリタンカフェ 出席者：17名(本部から鈴木副会長) 祝賀会(あわら温泉)、エクスカッション(永平寺、県恐竜博物館)
平成 10 年度	6月26日 10月15日	総 会 会 場：グリル「葵」(福井市) 出席者：17名(本部から小山田理事) 懇親会(同所) 参加者：会員17名、小山田理事 会報[第9号]、名簿発行	平成 23 年度	3月18日	講演会 会 場：アオッサ3階ウェルアオッサ(福井市) テーマ：「榎井小楠の実学思想と幕末の福井藩」 講 師：本川幹男氏(郷土史家) 総 会(同所) 出席者：8名 懇親会(同所) 参加者：会員8名

思い出の写真 .....



支部設立総会  
昭和 61 年 6 月 22 日、福井厚生年金会館にて同窓会長 柴 忠義先生(現、北里大学学長、2 列目の中央)をお迎えして開催された。



明治村(岐阜県犬山市)への旅行  
昭和 62 年 8 月 23 日、支部設立 1 周年を記念して北里研究所本館が移築保存されている明治村を訪れた。



スケートリンク(敦賀市)



おとと村(旧今庄町)



ふるさと道場(池田町)

\*レクリエーション\*  
総会と会員交流を兼ねて県内の各所で行事を開催しました。



夜叉ヶ池登山(旧今庄町)



福井県恐竜博物館(勝山市)



平成元年



平成 2 年



平成 5 年



平成 14 年



平成 15 年

詳しくは、11 ページの年譜をご覧ください。

## 会員からの便り

上田 修志（薬学部製薬学科、昭和 53 年卒業）

北里大学薬学部を昭和 53 年に卒業して早や 34 年も経過しました。時間の経つのは早いものと思身に染みて感じる今日この頃です。

私は、上田五兵衛商店に 57 年に入社、平成 8 年 40 歳で社長になり、これから頑張らなくてはという時に胃癌になりました。3 年間病院に通い、よく生きていたものだと思っております。その間、会社を支えてくれた社員と妻に感謝しています。また、体力を付ける為に始めたゴルフも、今ではシングルプレイヤーになりました。少しやり過ぎかな？

さて、上田五兵衛商店は昭和 22 年に設立され、農薬・試薬・臨床検査薬等を県内一円に販売しております。昭和 26 年には福井市役所前に現在の上田薬局の場所にありましたが、昭和 47 年に福井市問屋団地に本社移転、現在に至っております。また、昭和 30 年に農薬製造部門として、協和化学(株)を独立させ、現在では鯖江市神中町に移転、農薬の製造と白アリ防除業との 2 本立てで仕事をしています。

農薬分野では世界的な人口増加に伴い食糧不足ではありますが、日本では米が余って減反が進み、農家の高齢化に伴い従事者不足、最近話題の TPP、また海外との生産価格は正に少しでも低価格で生産できるように努力しております。このような農業環境の中で、県内 JA を中心に農薬を販売しております、ゴルフ場とも取引がある関係上、ゴルフをすることは趣味と実益を兼ねています。また、私は消費者に農薬を正しく理解してもら



<中央が私です>

い、適正な使用がされれば、害が無いことを啓蒙しなければならないと考えています。

試薬、臨床検査薬は大学、病院を中心に販売させていただいており、お蔭様で北里大学の衛生学部卒業生の皆様には大変お世話になり、ありがとうございます。本年 4 月 21 日には、上田フェアを福井問屋センターで開催させていただきました。和光純薬(株)、極東製薬(株)様をはじめ皆様の協力のもと、臨床検査技師の方 42 名のご参加を賜りました。福井県済生会病院検査部・谷口部長に特別講演をいただき、病院全体でのミス撲滅に大変努力されている事が参考になり、日々努力することが大切だと思いました。

今後とも仕事に、ゴルフに頑張りますので、ご支援の程よろしくお願い致します。



講演会後の情報交換会にて

## 子どもたちに命の大切さを伝えたい!

### 学校における性教育活動を通して

岩佐 玲子（衛生学部衛生技術学科、昭和 58 年卒業）

相模原キャンパスの衛生学部を卒業してから 20 数年? ..... 臨床検査技師として日々の業務や技師会活動の中から、大切な仲間と素敵な出会いが生まれました。

\* \* \* \* \*

近年、性行動の若年化や多様性で性感染症・HIV 感染が増加している事が危惧されています。このような中、私たちにも何かできるのではと考え、有志が集い学校教育の現場で“性教育活動”に参加しています。福井県教育庁より委託を受け、中学校や高等学校の講演会でエイズ・性感染症の知識と検査の話をしたり、小学校ではゲスト・ティーチャーとして“命の大切さ”の授業を受け持っています。

臨床検査技師として、顕微鏡写真や赤ちゃんのエコー、受精の神秘、疫学、感染症の検査などを分かりやすく説明しています。子どもたちは物珍しそうに目を丸くし、歓声を上げたり質問をしたりで楽しい授業になっています。受精から命が誕生し、大切に育てられている事を知って欲しくて、先生と共に構成を考えていくのです。また、『タバコの害について』のテーマでは、中学校で動脈硬化検査と肺活量検査を行い、検査技師という仕事の理解が得られた事も喜びでした。生徒たちは、タバコの被害を知り、家族の健康を願う思いを感想文に書いてくれました。



性感染症予防啓発活動には正しい知識を伝えることが大切です。福井県での HIV 感染が予想以上に多いこと、10 代の性感染症や中絶が悲しいことに増加しているのが現実です。『性』は心で生きると書きます! ..... 子どもたちには命の大切さを伝え、相手を思いやる心を成長に合わせた内容で解りやすく伝えていくことが必要です。また、保護者の方や教育現場の先生にも感染症の知識や予防を伝えていけたらと考え、放課後や日曜日に講演会を行っています。これらが子どもと性の話をするきっかけとなり、家庭のコミュニケーションが深まれば良いと願っています。

このような活動を 5 年ほど継続し、子どもたちの笑顔・先生方との信頼感・技師仲間の交流などかけがえのない宝物が得られました。熱い思いを持ち仲間とともに“命の大切さ”を伝える活動を広げていきたいと思っています。



熱心に聞き入る中学生



保護者も参加した講演会

## 大学時代のクラス会に出席して

伊藤 善祐(衛生学部衛生技術学科、昭和 50 年卒業)

月日が経つのは早いもので、大学を卒業してから早や 38 年になります。2 年前に 4 回目になるクラス会に出席した。その誘い文句は、“アラウンド・シックスティ、略してアラ還”、箱根湯本に 21 人が集まりました。私自身は 2 回目のクラス会参加となり、卒業以来 35 年振りに会う人も多くいました。懇談会では、それぞれが社会人になってからの事を話すのには余りにも短い時間でした。

翌日は全員が相模原キャンパスを訪れて取り壊し間近の元教養部校舎と 3 年間学んだ元衛生学部校舎を見学しました。講義室に入ると先生方の顔や、その頃の出来事が次々と浮かんで来ました。

次は 2 年後にと話し合いますが、昨年 3 月に発生した東日本大震災と原発事故の影響で、クラス会の開催が遠ざかったのでは...とっていました。しかし、この年齢になると時間的に余裕が出来たのか、または学生時代が懐かしく思い出されるのか、今年の 5 月にも東京で開催されました。前回参加出来なかった人たちも含めて 24 人となり、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

私事で恐縮ですが、金沢市の企業から地元の現勤務先(福井循環器病院)へ転職しました。その後、縁があって地域(JC)、学校、技師会、そして同窓会の活動を続けることが出来ました。その間、多くの人たちと出会い、忙しくも充実した日々を過ごせたことに大変感謝しています。今も母校や同窓生のことを懐かしく、また鮮明に思い出すのは、その出発点が大学時代だったからでしょうか。これからも多くの人たちとの“絆”を大切にしていきたいと考えています。



第 4 回クラス会(箱根湯本のホテルにて)



元衛生学部校舎



衛生学部記念碑



講義室で学生時代を振り返り...

### 〔小田急線 相模大野駅〕

再開発により、昔の面影は全く無くなっていた。大学行きの神奈川中央交通のバス(黄色の車体)はここから発着している。ここも学生時代の懐かしい場所の一つ!





昭和 49 年 11 月



平成 24 年 6 月  
(新病院工事中)



## 編集後記

昨年は、3月11日に発生した東日本大震災、福島原発事故、さらに台風による洪水と甚大な災害が多かった一年でした。その後1年余りが経過しましたが、復興とは裏腹に原発事故対策の遅れや生活不安が多くあります。また、今夏の電力不足を回避する為に、福井県の大飯原発が再稼働されました。“脱原発”と“再生可能エネルギー導入”を巡る議論の中で、国内では42年ぶりの“原発ゼロ”は約2ヵ月で終わることになりました。復興や正常化への期待と不安が入り混じった昨今ですが、私も自分に出来る事を考え行動していきたいと思っています。

さて、会報「第18号」をようやく発行することが出来ました。平成22年11月に開催された『支部設立25周年記念行事』の報告が今頃になってしまい、誠に申し訳ありませんでした。大学や同窓会の事を知っていただきたく、記事と写真を多く掲載しました。さらに、10年前の平成12年に開設した福井県支部ホームページを8月中旬にリニューアルすることになりました。どちらも同窓生の“絆”を深めていただけたらよいとの思いを込めて制作しましたので、皆様からご感想やご意見をお寄せいただければ幸いです。

現在、支部活動の活性化が課題となっていますが、当支部では今後も講演会などを取り入れて多くの会員が参加しやすいように努めてまいります。同窓生の皆様のご理解並びにご支援をよろしくお願い申し上げます。

北里大学同窓会福井県支部会報 第18号(2012.8.7発行)

\* \* \* \* \*

発行責任者：支部長 伊藤 善祐

事務局：〒911-0844 福井県勝山市鹿谷町西遅羽口13-9

TEL (0779)89-2082

URL <http://www9.ocn.ne.jp/~kitafuku>

E-mail [fukuikenshibu@kitasato-dousoukai.jp](mailto:fukuikenshibu@kitasato-dousoukai.jp)